

令和元年度 第1回 静岡市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和元年7月4日(木) 15時00分から16時30分まで
- 2 場 所 静岡市役所静岡庁舎 9階 特別会議室
- 3 出席者 **【委員】** (50音順・敬称略)
池谷 孝、内川麻衣子、遠藤知里、大橋正行、片岡佳美、片桐晶子、
小林祐太、佐藤栄作、杉山君子、仁科 斉、村越 真、村田真一、望
月 勇志、山之上誠
【事務局】
(スポーツ振興課)
長澤スポーツ振興課長、鈴木参事兼課長補佐
三矢スポーツ政策係長、野崎施設1係長、村垣施設2係長
村松主任主事、永野主任主事、佐野主事
(スポーツ交流課)
参与兼望月スポーツ交流課長、池田課長補佐(スポーツツーリズム推
進係長事務取扱)、山野井ホームタウン推進係長
- 4 欠席者 設楽和宏
- 5 傍聴者 2名
- 6 議 題 (1) 令和元年度の主要事業について
(2) 静岡市スポーツ推進計画の進捗状況について
(平成30年度末時点)
(3) スポーツ・イン・ライフ施策について

7 会議概要

司会 (三矢スポーツ政策係長)

〈開会〉

長澤スポーツ振興課長

〈挨拶〉

司会 (三矢スポーツ政策係長)

- ・会議成立(委員半数以上の出席により会議成立)

村越会長

- ・会議の公開
事前の傍聴希望者：2名傍聴を認める。〈異議なし〉
当日の会議録は、市のホームページに掲載、情報公開します。〈異議なし〉
- ・会議録署名人の選出 仁科委員〈承諾・異議なし〉
- ・配付資料の確認

議事（１）令和元年度の主要事業について【資料１】

スポーツ振興課の主要事業について３点

長澤スポーツ振興課長

【No.1】静岡市スポーツ推進計画（後期計画）の推進

- ・改定のポイントを踏まえた施策の展開
- ・スポーツインライフの考え方をどのように市民に定着させるか。
- ・スポーツ施策のブラッシュアップのため民間事業者との連携、協働体制の構築、強化

【No.2】スポーツ施設空調機整備事業

- ・特定天井改修事業とあわせて、避難指定所となっている体育館に空調設備工事を行うもの
- ・予算額は320,000千円
- ・継続事業の東部体育館、南部体育館は6月には整備完了し、7月に供用開始している。

【No.3】アーバンスポーツの推進

- ・昨年好評だったキックバイクイベントをボルダリング等のアーバンスポーツと一体的に開催
- ・予算額は1,500千円

望月スポーツ交流課長

スポーツ交流課の主要事業について５点

【No.1】2020年東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致事業

- ・台湾、スペインの合宿受け入れ
- ・スペインバドミントン連盟の合宿受け入れ
- ・オリンピック、パラリンピアンとの交流
清水中河内小等の学校にボッチャ等の種目で訪問する。
- ・予算額は6,000千円

【No.2】ラグビーワールドカップ合宿誘致事業

- ・配布のうちわ、ガイドにはエコパで行われる試合日程、公認キャンプ地が書かれており、静岡はイタリア代表を受け入れる。10月4日に南アフリカ代表と試合を行い、そのあとクールダウンで数日滞在後、豊田市へ移動。
- ・静岡は、イタリア代表の公認チーム受け入れ
- ・開催推進委員の活動支援を行う。

【No.3】ベルテックス静岡関連事業

- ・B3参入に伴う広報活動の支援でホームタウンのチームであることを広報する。
- ・今週末の清水ナショナルトレーニングセンターで行われるエスパルスの合同クリニックで小学生のバスケ、サッカーを行う。

【No.4】大学野球オータムフレッシュリーグin静岡

- ・大学1、2年の関東の大学を中心に招いて市内の高校で真剣勝負を行う。昨年から行っている事業。

【No.5】静岡サッカー祭り

・フリースタイルフットボールのコンテストや体験を中心に、サッカーをやっている子供たちの育成を目的に行っている。

【委員からの質問・意見】

〈質疑1〉

村越会長

スポーツ振興課事業のスポーツ推進計画の推進に関する予算がついていないのは、補正予算でつくのか、来年度からつくのか。

三矢スポーツ政策係長

令和元年度のスポーツインライフというくりでは予算計上していない。しかし、スポーツ振興課予算の内、管理経費にて対応していきたいと考えている。

〈質疑2〉

村越会長

キックバイクとは何ですか。

アーバンスポーツがオリンピックに入ってきているが、今後も推進していくのか。

鈴木スポーツ振興課参事兼スポーツ推進係長

キックバイクとはペダルを漕がずに乗る自転車のようなもの。

アーバンスポーツについては、若者やオリンピックでも注目を集めていることから推進していきたい。

〈質疑3〉

村田委員

民間事業者との連携とは、体協やまちづくり公社と連携していくという意味か。

村松主任主事

体協やまちづくり公社以外の民業者と連携をするために、協定書の締結等のガイドラインの構築を目指していきたい。

村田委員

まだ具体的に相手方が決まっている訳ではないのか。

村松主任主事

決まっていない。募集をかける際は公平におこなっていきたい。

三矢スポーツ政策係長

基本的には相手に制限はせずに考えている。

〈質疑4〉

佐藤委員

自転車を活かしたまちみがきは、静岡市のスローガンなのか。

村松主任主事

交通政策課がまちづくりの一環として自転車を活かしたまちみがき施策を行っている。

佐藤委員

静岡市は自転車事故が多く、ソフトの事業もいいがもう少しハード面で行っていったほうがいいのではないか。

三矢スポーツ政策係長

関係課へ意見をお伝えする。

議事(2) 静岡市スポーツ推進計画の進捗状況について(平成30年度末時点)【資料2、3】

村松主任主事

- ・資料2は、計画掲載事業の平成30年度末時点の達成度を5段階で示している。
- ・例外として実施できなかった事業が2つある。
 - 1つ目は市民ラジオ体操祭
→雨天のため中止。評価できず。
 - 2つめはJリーグ富士山ダービーにおける静岡市・甲府市連携交流事業
→エスパルスとヴァンフォーレがJ1、J2とリーグが異なるため試合がなかった。評価できず。
- ・全体の9割が達成度4、5を占めておりおおむね達成。達成度3は7事業あった。
資料3は資料2の集計のもとになった資料である。
- ・昨年度実施した中間見直し後の目標についても記載しているが平成30年度については、旧の目標値に対する評価をしている。
- ・スポーツ推進計画は平成27年度の計画当初の事業の性格などから目標値を設定しているため、経年により事業内容の変更等で実態に即していない事業がある。
例えば、区民体育大会である。これらは、中間見直しにより改善している。

達成度が3の事業について説明していく。

- ・区民体育大会の開催について
当初は葵区、駿河区を対象に4回を予定していたが、葵区2回、駿河区2回に変更したことから、目標より減少した。
- ・エスパルスドリーム教室(改訂前:教育サポート事業)について
エスパルスと静岡大学が連携して行っている事業だが、大学生の確保が難しくなってきたおり、目標達成できていない。
- ・小学校のクラブ活動や子ども教室へ、スポーツ推進委員を派遣する。
スポーツ推進委員の派遣事業。推進員は働いている方も多くなかなか放課後に集まれる人数が少ない。清水区は特定の推進委員で達成している。今後はスポーツ振興課が積極的

に調整を図り達成するようにしたい。

- ・楽しく身体を動かす運動遊び等の推進について

改定前はスポーツ手帳の交付だった。手帳にこだわらず使用しやすい媒体としてリーフレットの作成。昨年、試験的にリーフレットを配付し、アンケート調査を行った。それを踏まえて今年は市内の全小学校の4年生に配付をしていく。

- ・幼児向け屋外体操教室の開催について

Jリーグのスタジアム等を利用し行う。平日に開催していたのが好評であり、対象を拡大するため、土日開催に変更したことから開催数が減少している。良い意味での事業内容変更であり、減少していることを問題とはしていない。

- ・サッカースタジアム整備事業について

今後は本市のまちづくりの方向性に合わせた構想づくりに着手していく。

- ・スポーツに関する広報の充実について

旧事業名はスポーツスポーツナビシステム。

平成30年度にシステム仕様の検討、システム構築、運用の見積もりを行った結果、構築費用は約5,000千円となった。

昨年度の市民意識調査でスポーツに関する情報の入手媒体の問いについて、いまだに市の広報誌がとて多く5,000千円をかけて実施する費用対効果の説明が難しく時期尚早となった。

当面は、広報誌やポスターの作成等で広報の充実を図っていく。

【委員からの質問・意見】

〈質疑1〉

池谷委員

43番のエスパルスドリーム教室について

大学生の確保が困難となっているがどのようなかわり方をしているのか。

望月スポーツ交流課長

この事業はH23年度から静岡大学とエスパルスのホームタウンの担当部署で行っている。

事業の内容は大学生が考え、エスパルスはサッカースクールのコーチ、選手、総合部門では営業の人間に講師として行っている。

静岡市はその調整を行っている。

そのなかで大学生の確保は、塩田研究所の学生にお願いをしていた。しかし、卒業してしまった学生分を新たな新生に依頼をしていたが、お願いできる学生が減ってきた。

池谷委員

特定の大学生がやっていたということか。

大学全体に投げかけているわけではないのか。

望月スポーツ交流課長

その研究所の学生は将来学校の先生を目指していることから、その研究所にお願いをしていた。

山野井スポーツツーリズム推進係長

研究所の学生の人数が減っていることに加え他に取り組む授業が増えたために人工が減った。また、学生スタッフが静大を中心にいるがそこへも依頼はしている。

村越委員長

特定の研究所に声かけられるということで、学生の範囲が狭くなっているため、だからこそしっかり掴めるのかと思う。

静大の教育学部や常葉の大学にも教育の学部があり、もっと多くの学生がいるが、今後地域の大学生を活かしていくという構想、発想はあるか。

望月スポーツ交流課長

他の大学を検討したなかで、もともとドリーム教室の発案が、静大生で実施できた。

このドリーム教室の開催数は減っているが、その代わりに日本サッカー協会の夢チェン制度があり、サッカーに限らずオリンピック・パラリンピアン、メダリストなどにたどり着くまでにどのような苦勞をしてたどりついたかをやっている夢チェン制度である。また、小学生向けの事業を進めたいと思っている。

〈質疑2〉

杉山委員

小学校のクラブ活動や放課後子ども教室への指導者の派遣について

私も推進委員をやっているが学校から今までこういったことをやってほしいといわれたことはないが、今年になって初めてこういう意見が出ているのはなぜか。

村松主任主事

27年度の推進計画策定当初から、スポーツ推進委員の学校への派遣事業は掲載されていたが、おそらく清水区の委員の方の取組を想定していた。

区民体育大会を初めとする事業を区ごとに取り組んでいきましょうという事業変更の流れの中で、この事業も内容がかわってきている。

議事（3）スポーツ・イン・ライフ施策について（3班に分かれてワークショップ）

村松主任主事

スポーツ・イン・ライフ施策の事業案をワークショップでだしていただきたい。

スポーツが生活の中にとけ込み、日常的に親しんでいるライフスタイルである「スポーツ・イン・ライフ」を浸透させるため、生活の中で無理なく行える身体活動や簡単にできるストレッチの紹介などでスポーツの捉え方の意識改革を図り、無関心層を取り込むことにより、スポーツ実施率を向上させることが施策の大きな狙い。

資料4の（2）に挙げられている、事業案へ具体的な意見や、新規のアイデアなど様々な意

見をだしていただきたい。

3つの班に分かれて各班3分程度発表を行う。

〈ワークショップ開始〉

〈各班の発表〉

1班 発表：内川委員

- ・スマホの活用

- 歩数計アプリ、ステージアップができるアプリ、静岡版のスポーツアプリでスポーツをやる他、静岡の魅力を伝えたり、観光情報の提供にもつながる。

- ・YouTube でコンテスト形式で筋トレやストレッチの企画を行う。閲覧件数で勝負をすることで盛り上げる。

- ・ランニングスピードを計測し、それをアバターに反映して世界中の人と挑戦するアプリ

- ・レンタルバイク（乗り捨て可能なもの）

- ・記録を可視化する

- 階段に工夫をする『スタート』『ゴール』などのコメントで励ましたり、エレベーターやエスカレーターに階段を推奨する表示をする。

- ・広告を利用する。

- 例えば、道で信号待ちをしてる間に目に入るような場所

- ・公園、道路

- 50メートル走ができる線、スタートライン、ゴールライン。『オリンピック選手ならここを○秒』『チーターなら○秒』など子どもがスポーツに興味をもつ仕掛けをする。教育的かつスポーツにつながる。

2班 発表：村田委員

- ・HP作成に関連して、FacebookなどのSNSは、発信者と受信者、双方のコミュニケーションをしなければ効果的ではない。

- ・健康、効果を数値化する等可視化し、スポーツをやるためのインセンティブを働かせる。

- ・スーパーで買い物客を対象に徒歩や自転車での買い物を促すポスターを掲示する。

- ・広報誌で集中的に広告をする

3班 発表：遠藤委員

- ・ラジオ体操を方言で作る

- ・街角に卓球台を置く

- ・レンタルバイク

- ・ラジオ体操のように太極拳を行う
- ・飲み会とウォーキングをくっつけたイベントを行う
- ・カロリー消費のわかる標識を人が集まる場所へ設置

参加しても継続性がないものが多く、またスポーツが個人化しており、クラブなどに入る機会が減っている。

高齢者は意外に健康意識が高く自らスポーツを取り入れているが、スポーツが好きな方でも個人だと場所が確保できていなかったりする。

以上のような問題点も発見できた。

〈総括〉

村越会長

可視化というのは大事なキーワードだと思う。歩数であったり消費カロリーであったり運動の成果は見えないものが多い。そういったものを可視化することでスポーツ実施率の向上に繋がっていく。

あとインセンティブも必要だと思う。スポーツをするとマイレージやポイントが貯まるとか運動するきっかけになると思う。

静岡ならではのアプリの開発を行い観光等の施策と一体的にスポーツを進めていくものいいと思う。

村越会長

以上ですべての議事が終了したため、議長の職を終わらせていただく。

長澤スポーツ振興課長

〈任期満了に係る御礼の言葉〉

司会（三矢スポーツ政策係長）

〈開会〉